

## 史学委員会中高大歴史教育に関する分科会（第24期・第5回）議事要旨

1. 日 時 平成30年10月26日（金）  
4日（土） 10時00分～12時00分
2. 会 場 日本学術会議 6-A（1）会議室
3. 出席者 小佐野 重利、川島 真、河村 豊、君島 和彦、木村 茂光、  
久保 亨、小浜正子、坂井 俊樹、鈴木 茂、永原 陽子、三谷博、  
桃木 至朗、若尾 政希
4. 議 題
  - （1）前回議事要旨の確認  
8月4日に開催された第4回分科会の議事要旨を確認した。
  - （2）報告：国際バカロレアの教育プログラムと「歴史総合」・「世界史探究」-DP Historyにおける歴史的思考力育成-（報告・山本勝治東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭）  
東京学芸大学附属国際中等教育学校における国際バカロレア（IB）のプログラムの一つであるDP（ディプロマプログラム）について、その概要と後期中等教育段階での実践的な取り組みが報告された。DPと「歴史総合」や「日本史・世界史探究」との共通点を確認するとともに、報告に対する質疑と意見交換が行われた。
  - （3）入試についての検討（報告・鈴木茂連携会員）  
東京外国語大学「世界史科研」で実施した歴史系新科目と大学入試改革についてのアンケート結果が報告された（主に高校教員、2017・2018年実施）。とくに「歴史総合」を大学入試にどう連携させるか、という点での高校現場の課題が指摘された。それらをめぐって議論するとともに、本分科会の今後の課題についても話し合った。
  - （4）次回の打合せ  
「歴史総合」が大学入学共通試験（新テスト）でどのように取り扱われるべきかを協議し、分科会としての提言案を早急に作成していくことを確認した。次回は、提言案をめぐり審議することとした。